

平成29年度 加西中学校生徒(3年生)の学力・学習状況の報告

平成29年4月18日(火)に実施された「平成29年度全国学力・学習状況調査」の結果から、この調査を受けた本校3年生の状況について報告します。本調査は、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図ること等を目的に実施されています。

本年度の調査では、「主として知識に関する問題」「主として活用に関する問題」とともに、本校生徒は全国平均を上回る良い結果を得ました。しかし、「主として知識に関する問題」に比べて「主として活用に関する問題」の成績が劣る状況は、全国・兵庫県の状況と変わりありません。生徒は得た知識をうまく活用できていないのが現状であるといえます。ただ、本調査は、実施教科が国語と数学の2教科であり、必ずしも学力全体を分析できるものではありません。本年度の調査結果が、生徒の学力・学習状況の一部をあらわすものであることに留意し、生徒一人一人や学校全体の状況を総合的に把握することに努めなければなりません。そして、それを授業改善や学習意欲の向上、学校全体の教育活動の充実に生かしていきたいと考えています。

★調査結果から

○肯定的回答が90%以上の項目

- ・朝食を毎日食べている。
- ・毎日、同じくらいの時刻に起きている。
- ・ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある。
- ・友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができる。
- ・家の人（兄弟姉妹を除く）は、授業参観や運動会などの学校行事に来る。
- ・家で学校の宿題をしている。
- ・学校で友達に会うのは楽しい。
- ・学校の規則を守っている。
- ・友達との約束を守っている。
- ・授業では自分の考えを発表する機会が与えられていた。
- ・生徒の間で話し合う活動をよく行っていた。
- ・文章を書く問題について、最後まで解答を書こうと努力した。
- ・数学ができるようになりたいと思う。
- ・言葉や数、式を使って説明する問題について、最後まで解答を書こうと努力した。



○肯定的回答が50%未満の項目

- ・テレビやゲームの時間などのルールを決めている。
- ・家で、自分で計画を立てて勉強をしている。
- ・家で、学校の授業の予習をしている。
- ・家で、学校の授業の復習をしている。
- ・自分と異なる意見の良さを認め、話し合いで意見をまとめている。
- ・地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある。
- ・地域の大人と一緒に活動することがある。
- ・新聞を読んでいる。
- ・将来、外国へ留学したり、国際的な仕事をしたりしてみたい。
- ・地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会があった。

★結果の分析と考察

○学習全般において

本校の生徒は、おおむね落ち着いた学校生活を送っており、授業においても真面目な姿勢で学習に取り組んでいます。ただ、学習意欲は高いものの、予習復習が不十分な生徒がおり、家庭学習を含めた各教科の指導の充実を図ることで、さらなる向上が期待できます。



○教科の状況について

【国語】

国語に関しては、すべての観点において全国平均を上回り、特に「書く能力」に良い結果が出ています。国語は難しいと感じている生徒が多いにもかかわらず良い結果が出たのは、朝読書を継続していること、読書が好きな生徒が多いことに加え、授業において、漢字練習を習慣化していること、自分の考えを発表したり文にまとめたりする機会を増やしていることなどが考えられます。

【数学】

数学に関しても、すべての観点において全国平均を上回り、特に「数量や図形などについての知識・理解」に良い結果が出ています。数学が好きでその大切さを理解し、数学ができるようになりたいと考える生徒が全国平均よりも多いこと、複数教師での指導や生徒同士の教え合いによって、つまずきの解消に努めてきたことがこの結果につながっていると考えられます。

○生活の状況・生徒の実態について

本校生の生活状況については、起床時刻や就寝時刻は安定しており、ほとんどの生徒が毎日朝食を食べていることから、基本的な生活習慣はほぼ身に着いていると考えられます。そして、学校の規則を守り、友達との約束を守ろうとする生徒が多く、規範意識が身についています。

その反面、「人が困っているときは進んで助ける」「いじめを許さない」「人の役に立ちたい」「地域や社会をよくするために何をすべきか考える」、更には「難しいことでも失敗を恐れなくて挑戦している」「自分には良いところがある」等は全国平均を下回っており、生徒の道徳・人権意識の高揚、自尊感情や自己有用感の育成等を喫緊の課題として受けとめています。

また、「地域や社会で起こっている問題や出来事に興味がある」「テレビのニュースやインターネットのニュースを見る」「外国の人と友達になったり、外国のことをもっと知ったりしてみたい」「将来、外国へ留学したり、国際的な仕事をしたりしてみたい」「将来の夢や目標をもっている」等の項目においても肯定的な回答が少ないため、今後は、社会情勢や地域社会に関心を持たせるとともに、グローバル的な視野を持つ生徒の育成にも力を注がなければなりません。

★まとめ

本校は、『自ら学び続ける、心豊かな生徒の育成』を教育目標に掲げ、誰もが「わかる、できる」を実感できる授業づくりをめざし取り組んでいます。本年度の学力調査で、国語・数学ともに全国平均を上回る結果となったのは、地道ではあるが堅実な教育活動によって、安定した落ち着いた教育環境を実現させ、共に学ぼうとする姿勢を育成してきたことによるものだと考えています。

しかし、個々の生徒の実態をみると、まだまだ多くの課題があることも明らかになりました。特に「いじめを容認する生徒」が1割を超えており、「人の役に立つことを考えない生徒」も1割を超えるとともに「失敗を恐れず挑戦する生徒」「自分に良いところがあると考ええる生徒」は、全国平均を下回っています。これらの課題を克服することで、加西中学校の生徒が、社会で自立し活躍していけるように、これからも研究を続けていきます。

保護者、地域の皆様におかれましては、なお一層、本校の教育活動にご協力を賜りますようお願いいたします。

